



上田 裕康 先生

略歴

- 1983年 岐阜歯科大学卒業
- 1995年 桜桃歯科開業
- 2000年 京都大学再生医科学研究所研究生
- 2002年 東北大学大学院医学系研究科研究生
- 2015年 (一社) Twinkle Dental グループ設立
- 2016年 株式会社アステリア顧問

高齢者医療費削減に向けた重大提案 ～鶏卵黄抗体 (IgY) を用いた新たな歯周病克服へのアプローチ～

株式会社アステリア顧問／岐阜県開業
上田 裕康

岐阜県歯科医師会のポスター「目指せ8020」に興味深い調査結果が記載されている（平成20年度岐阜県8020運動推進特別事業／岐阜県医療整備課・岐阜県歯科医師会）。

首都圏、関西圏の高齢者300名対象の調査で、歯が20本以上残っている人と、歯が一本も残っていない人の活動項目において「家族や親戚以外の人と付き合っている人の人数が、前者は16.1人、後者は8.0人という差が出ています。

私はこのデータを見て、歯が残っている人の方が、咀嚼力が強いので、その事が脳を刺激する結果であるとか、歯が多い人の方が、唾液の分泌量が多いので十分咀嚼でき、その事が腸内細菌を活発にするので健康快活であるとかがその要因であるとは思いません。

単純に考えて、歯が多い人の方が食事が美味しく出来るので、自然と付き合いの機会が増えるということである思います。

我が国の財政赤字の多くを占める、社会保障費。その中でも医療費の占める割合は、突出しています。その医療費においては、70歳までの医療費と70歳以降の医療費が拮抗している現状です。安倍内閣は、消費税の増税分を待機児童問題の解消や、高等教育の無償化など未来を担う若い世代のために使う事を決定しています。

となると、財政赤字の元凶である高齢者の医療費は、高齢者が健康である事で解決するしか道はありません。

病の多くは精神的な衰えから始まっていきます。精神的に萎えてしまうと自律神経に悪影響が出て免疫力が衰え血液循環も不調となり代謝機能も衰えます。精神的な衰えの最大の原因の一つは「ストレス」です。そしてストレスを生む最大の原因は「精神的孤独」です。精神科医の患者さんへの根本的なアドバイスに「自分で抱えこまずに、とにかく口に出して話を聞いてもらう事」と言うのがあります。それ程に「孤独」は人間の精神、ひいては健康を害する元凶です。「孤独」から逃れるために、普段からなるべく多くの友人をつくり、コミュニケーションを維持する事です。そのために最も必要な事は一緒に食事をし親睦を深める事です。（国立長寿研究所（愛知県大府市）のお膝元南知多でのコフォート研究で、認知症と残存歯数との関係性2017年 久山町研究・Hisayama studyもこの事を裏付けると思います）国家の最重要課題である、高齢者の健康維持に医療費削減と歯周病克服による多数歯の一生涯の保全とは全く同値であると言って良いほど重なり合うのです。

今回は、歯周病克服のためのアプローチとして、これまでワクチン（抗体）が得られていなかった歯周病原因菌のレッドコンプレックスである、PG菌、FN菌、AA菌、PI菌を、哺乳動物とは大きく遺伝子の異なる、鶏に接種し、その鶏卵から取り出した、4菌に対する抗体（IgY）を含む食品を摂取させた10人の患者さんの唾液中の歯周病菌の変化の追跡データを得た、世界初の発表会であり、皆様と共にまだ検体個体数の少ないこの歯周病克服の手法の将来の可能性について、歯周病克服だけでなく、誤嚥性肺炎予防、インプラント周囲炎予防、口臭予防などの可能性に関して様々な角度から検討することができればと思っています。